

白根市水質検査結果

限りある資源を一人一人の心掛けで大切に

戸頭浄水場では、より安全でおいしい水を使用するように定期的に水質検査を実施しています。左の表は、五月二十三日に実施した水質検査の結果です。検査結果を見ると、白根市の水道水はすべての項目でおいしい水の要件を満たしています。

昨年夏の猛暑で、全国的に問題となった水不足。白根市は中ノ口川という良好な水源に恵まれています。水は限りある資源です。節水に努めましょう。また、きれいな水道水を作るには、川を汚さないことが大切です。川を汚す最も大きな原因は、生活排水です。一人

表1：水質検査の結果

Table with 4 columns: Water Quality Item, Good Water Standard, White Root City Standard, Summary. Rows include: Total Dissolved Solids, Hardness, Total Hardness, Manganese, Odor, Residual Chlorine, and Temperature.

一人が安心して飲める水にするよう心掛けましょう。

こんな水が出るときは

●赤い水、黒い水が出る
水道管に付いた鉄さび、マンガンの原因です。しばらく水を出してお待ちください。きれいな水に戻ります。

●白い水が出る
水の中に混じった空気が原因です。しばらく放置すると透明になります。

●青い水が出る
給湯器など銅管を使用した器具から溶け出した銅が原因です。専門業者にご相談ください。

●朝一番の水道水は
飲み水以外に
長い間家を留守にしたときや朝一番の水道水は、水道管内に長時間滞留しているため、赤い水や黒い水が出やすかったり、消毒用の塩素の量が少なくなっていることがあります。最初の水は洗濯や掃除用など飲み水以外にお使いください。

第23回白根市美術展覧会

市民の力作 ずらり232点

第二十三回白根市美術展覧会は六月一日から六日までカルチャーセンターで開かれました。六部門に二百三十二点が出展され、訪れた人たちの目を惹きました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

【市長賞】
日本画Ⅱ巻口ひで(中央通) 洋画Ⅱ中島彩子(庚) 書道Ⅱ田中静子(中央通) 写真Ⅱ佐藤喜一(大通南) 美術工芸Ⅱ渡辺恵子(みの口)

【議長賞】
日本画Ⅱ阿部正幸(黒崎町) 洋画Ⅱ横山直子(上茨) 書道Ⅱ海津椿三(みの口)、西方一幸(能登) 写真Ⅱ藤井孝一(下道湯)
【教育長賞】
日本画Ⅱ星野策次郎(鰐湯)、寺沢美津社(七軒町) 洋画Ⅱ中山紀子(上塩俵) 書道Ⅱ松沢祥山(戸石新田)、渡辺弘山(丸湯)、小野汀花(四の町)、長崎明堂(下茨) 写真Ⅱ笹川良一(魚町)、山際浩(黒崎町)



【協会長賞】
日本画Ⅱ窪田希世衣(味方村)、本間秀雄(黒崎町)、岡田徳一郎(鰐湯) 洋画Ⅱ田村葉子(二の町)、川口雪絵(大通南) 書道Ⅱ阿部正五(諏訪木)、皆川緑那(味方村)、水野佳代子(中央通)、渡辺久江(日の出町)、織原千翔(二の町)、武石陽子(下茨) 写真Ⅱ安沢宏(朝捲)、安田欣二(白井)、早川宏(白井)、木下信雄(味方村)、渡辺平穂(黒崎町)、柳瀬茂(下道湯) 彫塑Ⅱ高橋直広(水道町) 美術工芸Ⅱ田島ミナ子(みの口)

市政功労者表彰式

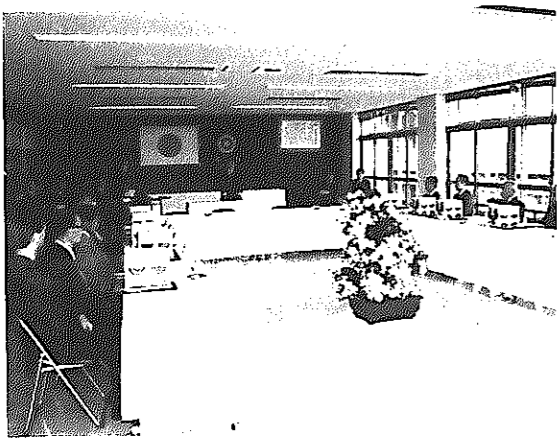
自治や産業の功労者13人を表彰

市制施行日の六月一日、市役所で市政功労者表彰式が行われ、自治や産業などで市政の振興に功績のあった十三人が表彰されました。市ほう賞規則に基づき表彰を受けた方々は次のとおりです(敬称略)。

【自治功労】▽速藤久(中塩俵・五十九歳)、石田伸一(庄瀬二・六十三歳)；多年にわたり農業委員として地域農業と地方自治の発展に寄与。▽須田武(能登三・五十八歳)、小林一郎(堀掛・五十

三歳)；多年にわたり消防団分团长として消防業務に精励。▽青木一郎(能登六・七十歳)、鈴木新太郎(桜町三・六十二歳)；多年にわたり国民年金委員として市政の振興に寄与。▽小野忍(日の出町・六十二歳)、石田豊実(庄瀬五・六十五歳)；多年にわたり国民健康保険運営協議会委員として市政の振興に寄与。▽佐藤三二人(中山・七十三歳)；多年にわたり国民健康保険運営協議会委員、社会教育委員として市政の振興に寄与。▽速藤徹(中大郷・四十五歳)；多年にわたり青少年育成指導員として社会教育の振興に寄与。▽庭山弘(五六の町・七十四歳)；多年にわたり統計調査員として統計業務に精励(生前にさかのぼり四月六日付け表彰)。

市政短信



【産業功労】▽鈴木吉四郎(東町・八十四歳)；多年にわたり技術技法の研さんと指導育成に努め市の産地振興の向上に寄与。【感謝】▽速藤裕己(横浜市・五十三歳)；大鳳と歴史の館にビデオカメラ・編集機器を寄付

自治会等代表者連絡会議

市と自治会代表者が長時間、意見を交換

五月二十四日カルチャーセンターで自治会等代表者連絡会議が開かれ、市内の自治会長ら約百八十人と市関係者らが懇談。各地域の問題点などを話し合いました。会議の冒頭、竹内市長が平成七年度の施政方針と主要施策を説明。市民と行政の橋渡しをする自治会代表者に理解を求めました。その後、意見交換に入り、参加し

た自治会長からは「学校の増築は」、「ジャスコ出店に不安があるが」、「8号バイパスの問題をどう考えているか」など、さまざまな意見や質問が出されました。また記念講演会として教育コンサルタントの田中カツイ氏の講演も行われ、魅力と活力あるまちづくりについての話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

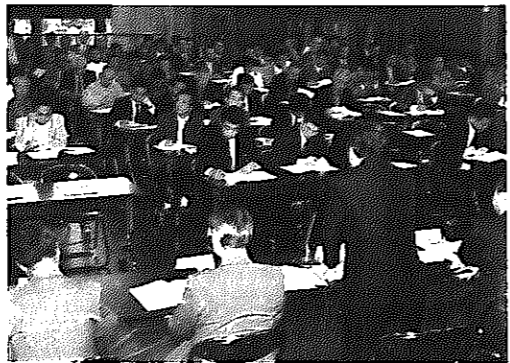
信濃川をきれいにする会が発足

母なる大河を美しく

日本を代表する河川として私たちに多くの恵みを与えてくれる信濃川。この川をより美しく素晴らしいものにしていこうという「信濃川をきれいにする会」が発足しました。会には信濃川沿いの新潟市、新津市、白根市、黒崎町、信濃川下流工事事務所などのほか、土木事務所や土地改良区、漁業協同組合などの団体が参加。五月十二日、新潟市のメルパルク新潟郵便貯金会館で設立総会が行われました。

総会では互選により会長が選出され、竹内市長が会長に就任。竹内会長は「これからは自然と共生していく時代。小さなことから川をきれいにし、川と触れ合える地域づくりを目指したい」とあいさつしました。その後、会の今後の活動を検討。ごみ拾いによるクリーン作戦を行うこと、堤防や河川敷を花文字で飾ることを決めました。母なる大河「信濃川」の川を守るためにも会の今後の活動に期待が掛かります。

自治会長と市関係者でさまざまな意見交換が行われた。



信濃川をきれいにする会



互選により、竹内市長が会長に選ばれた。